

平成28年8月31日

長久手市議会副議長 岡崎つよし

### 議員派遣結果報告書

平成28年第2回長久手市議会定例会において議決された議員派遣について、下記のとおり報告します。

#### 記

1 件名

尾三11市議会議員合同研修会

2 目的

市政に関する諸般の事項の研究

3 派遣場所

北名古屋市文化勤労会館

4 期間

平成28年8月4日の1日

5 派遣議員

全議員

6 概要

演題 災害時における議会の役割

講師 新川達郎氏 同志社大学大学院教授

(1) 災害時における議会の役割とは

被災後救援時の議会の対応ができているかより、災害発生時における議会としての対応つまり防災や減災に議会は取り組んでいるか、また予防は十分であるかが重要である。

(2) 議会の防災と業務継続計画について

災害時などに行うべき議会・議員の役割や行動方針を定めた議会の業務継続計画（BCP）について、計画策定に研究指導の形で参与された大津市の事例を紹介いただいた。今後、議員としてどう行動すべきか考え直す機会になり、BCPの必要性を感じた。

(3) 災害対応マニュアルの策定について

防災手帳をそれぞれの議会で作成するといいいとの提案があり一考を感じた。

(4) 執行機関の防災対策との連携について

災害対策本部における議会の位置と役割の明確化や、防災は執行機関の権限であるが議会の関与を考える必要があると説かれた。

7 感想

平時であれ緊急時であれ、議員は住民の代表であり、議会は住民代表機関である。議長を中心とした議会の機能維持の重要性を改めて感じた。今回の研究が尾三11市での災害ネットワーク、防災協力協定を考えるきっかけになればと感じた。

平成28年8月31日

長久手市議会副議長 岡崎つよし

## 議員派遣結果報告書

平成28年第2回長久手市議会定例会において議決された議員派遣について、下記のとおり報告します。

### 記

1 件名

議会交流事業

2 目的

南木曾町議会、長久手市議会の相互理解と交流

3 派遣場所

長野県南木曾町

4 期間

平成28年8月16日の1日

5 派遣議員

全議員

6 概要

(1) 南木曾町豪雨災害（平成26年7月9日）復旧状況調査

梨子沢災害復旧は、国土交通省（多治見砂防国道事務所）から7件、林野庁（木曾森林管理署南木曾支署）から2件、長野県（木曾建設事務所）から3件、南木曾町から7件、合計19件の工事が発注され、復興が進んでいる。

国土交通省では第1堰堤の復旧工事、第2堰堤の除石工事、第3、第4堰堤の新設工事を進めている。また、県や町から受託した東町堰堤の復旧工事、東町堰堤から小学校付近までの流路工、町道梨子沢橋などの復旧改良工事も着手された。林野庁では、大梨子沢の谷止工復旧工事及び新設工事、小梨子沢の谷止工復旧工事及び新設工事を進めている。長野県では、梨子沢堰堤の復旧工事、県道より下流部の流路工に着手した。また、県道梨子沢橋についても復旧が進められている。

工事については、国、県、町で組織する「梨子沢工事安全協議会」において、各工事の調整をはかりながら、一日でも早く復旧工事が完了し、地域の皆さんが

安心した生活を送れるよう取り組んでいる。

梨子沢水系の農業用取水施設6ヶ所全てが被災し、一切取水できない状態となったことから、上の原、大沢田沢水系から用水を分け、仮廻しパイプ3.3kmを設置し、応急的な仮配水を行ったが、今回の大規模な仮配水は周辺水利組合等の理解がなければ行えない対応であり大変な苦労があったとのことだった。

## (2) 産業振興事例調査

異なる6種類の形の積木を造っている株式会社勝野木材を視察した。長久手市出産祝い事業は、子ども・子育て支援事業計画の「選択肢を増やす多様なサービスの充実」の具体的な施策のひとつとして位置づけられている。出産祝い品として木のおもちゃ等を配布し、幼少期から木に触れることで自然を大切にする心を養う。これにより市域全体で自然を大切にする気運が高まり、子育てしやすい環境へとつながり、また、地域間交流で行なっている南木曾町での林業振興にも貢献できる。平成27年4月から事業が始まり、実績は配布件数493件、歳出委託料は2,465千円であった。

## (3) 意見交換

災害復旧状況を調査した上での質疑を行った。南木曾町はこれまでに何度も被災しており、国、県、林野庁及び町の管理区分がはっきりしていたため、スムーズに復旧事業を進めることができた。災害が起こった時点で国や県が中心となって危険箇所を全て調査していただき、早急に対応すべき場所に順位をつけ工事を進めてもらった。また、ソフト面としては各地区でハザードマップを作成し集会所等に張り出している。町としても、災害の様子を後世につなげるため、被災した方に実際にどんなことが現場で起こっていたのかを聞き取りしており、まとめたものを来年に町民の方に配布する考えであるとのことだった。

## 7 感想

梨子沢災害関連工事の施工状況を見学して、改めて自然災害の恐ろしさを目のあたりにした。平成28年9月の「広報なぎそ」には「7・9南木曾町災害から2年」復旧工事は進んでいると、完成間近の梨子沢第3堰堤の写真が掲載されていたが、まさにダムのようなコンクリートの塊であった。

また、産業振興事例調査では、木曾檜の持つ優しさ、手触りと香りを楽しみ、今後も木曾地域の木工・工芸品を使用して木材の良さやその利用の意義を学ぶ「木育」を取り入れていきたいと感じた。